

2019年3月28日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

子会社によるポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

当社の子会社である三井住友信託銀行株式会社が、本日別添のプレスリリースを公表致しましたのでお知らせ致します。

以上

2019年3月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

世界初となるポジティブ・インパクト・ファイナンス












(資金用途を特定しない事業会社向け融資タイプ)の契約締結について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、不二製油グループ本社株式会社(代表取締役社長:清水 洋史、以下「不二製油グループ本社」)との間で、国連環境計画金融イニシアティブ(以下、UNEP FI)(※1)が定めたポジティブ・インパクト金融原則(※2)に即した世界初となる「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(資金用途を特定しない事業会社向け融資タイプ)の融資(以下「本件」)」契約を締結いたしました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的として融資を実行するものです。UNEP FIが定めたポジティブ・インパクト金融原則及び同実施ガイドラインに即した手続きを踏まえて実行するものであり、企業のSDGs(※3)達成への貢献度合いを企業が評価指標を活用して具体的に明示して開示することが最大の特徴です。

不二製油グループは、油脂や製菓・製パン素材、大豆の各事業において開発・生産・販売を行う国内最大手の企業であり、当社は不二製油グループが、すべての事業分野、事業エリアにおいて、原料の調達、生産活動、製品のサプライチェーンにわたって環境、社会、経済にインパクトを与え、SDGsに貢献していることを評価しました。

特に、SDGsの目標達成にインパクトを与える活動として、当社は次の3つのテーマを定性的、定量的に評価しました。

テーマ	内容	SDGs
サステナブル調達	人権・環境に配慮した主原料調達(パーム油等)	  
生産活動における環境負荷低減	不二製油グループ環境ビジョンにおける気候変動、水、廃棄物対策	   
食の創造によるソリューション提供と食の安全・安心・品質	Plant-Based Food Solutions (植物性食品素材で世界の社会課題を解決する取り組み)	   

これらの取り組みにおける成果は、不二製油グループ本社が発行する統合報告書(※4)、サステナビリティレポート(※5)等によって開示されます。

なお、本件契約締結にあたり、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より本件評価

にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見(※6)を取得しています。

今回実施したポジティブ・インパクト・ファイナンスは、本年 1 月に三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫)が支持表明を行った「責任銀行原則 (PRB:Principles for Responsible Banking)」の取り組みの一環です。

2018 年 11 月に本件の「資金用途を限定しない事業会社向け投融資」以外に、「資金用途を限定するプロジェクト向け投融資」、「不動産向け投融資」の 3 つの実施ガイドラインが UNEP FI から公開されており、当社はこれらの取組を推進してまいります。

当社では、ポジティブ・インパクト・ファイナンスにより、SDGs の目標達成に資するお客様の事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

(※1) 国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI)

国連環境計画 (UNEP) は、1972 年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FI は、UNEP と 200 以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG (環境・社会・企業統治) への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※2) ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI) が 2017 年 1 月に策定した、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた金融の枠組です。企業が SDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

(※3) SDGs

2015 年 9 月に 193 の国連加盟国により採択された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) です。2030 年までにあらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等の問題に対し、誰も取り残されない世界の実現を目指すために、17 の目標と 169 のターゲットを定めています。

(※4) 不二製油グループ本社株式会社/統合報告書 2018

https://www.fujioilholdings.com/pdf/ir/library/integrated_report/fujioil_integrated_report2018.pdf

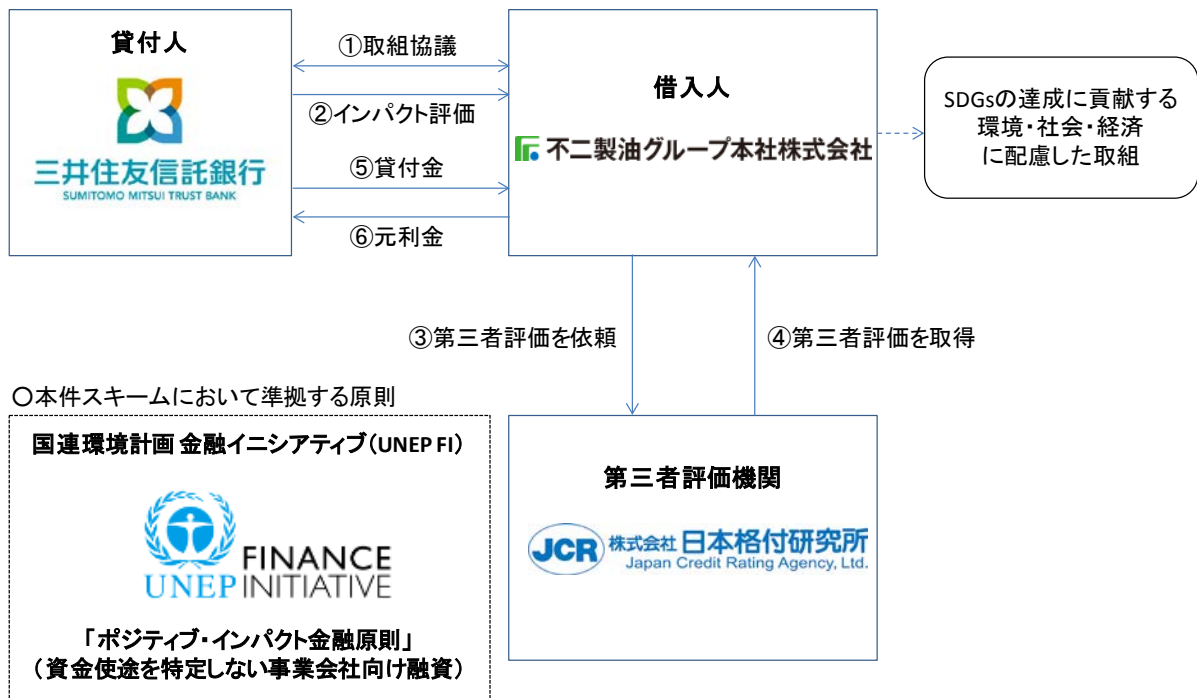
(※5) 不二製油グループ本社株式会社/サステナビリティレポート(2018 年版)

<http://www.fujioilholdings.com/pdf/approach/2018.pdf>

(※6) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください

https://www.jcr.co.jp/pdf/greenfinance/SMTB_20190328_jp.pdf

<スキーム概要>



以上